

# たかはし まこと 11. 高橋 真登さん

## 就業のきっかけ

大滝村（現伊達市大滝区）で生まれ育ち、いつも身近に山や川があることが身に染みついているので「いずれは地元で就業したいな、それなら第一次産業（林業含む）なんかもアリかな」などと漠然と思っていましたが、中高は野球、大学ではボクシングに打ち込み、実際に森林に関わる仕事についてのイメージは全く持っていませんでした。

前の職場を退職した時に、子供の頃からお世話になっている（弱みを握られている？）地元の先輩から声をかけてもらい、林業の「り」の字も知らないものの「人と話すことは好きだし、あとは体力勝負でなんとかかなだろう」と勢いそのままにこの世界に飛び込んでみました。

## 仕事のやりがい

屋内での事務仕事を離れて現場に行くと、いつも「ああ、気持ちいいな」と感じます。外仕事、力仕事に性合っている人間には向いた職種だと思います。また、自分が担当した現地在40年、50年後にどんな森林に成長するのか、遠い未来に希望を繋げていく仕事であることも大きな魅力です。

この一年間で、山主さん、現場作業員さん、各関係機関の担当者さん・・・と多くの方々と関わる機会があり、沢山の助言・指導をいただきました。その1つ1つを肝に銘じながら、クリーンラーチ苗の伸びにも負けない勢いで成長していければと思っています。



【厳寒・深雪もなんのその】

## 仕事の大変なところ

暑さ寒さや体力的なことは、はじめから覚悟していたので問題ありません。ただ、とにかく事務作業が苦手なので、諸先輩方からの厳しくも温かいご指導の下、書類やパソコンにかじりついています。

事務も現場も適確にこなし、地域に貢献できる人材に少しでも早くなれるよう、今後も努めていく所存です。



胆振西部森林組合  
森林整備事業

〒052-0025  
伊達市網代町10番地3

年齢 31歳  
勤続年数 1年

## 仕事内容

なにしろ駆け出しなので、先輩の指示のままに現場回り、測量、事務作業など業務一連を修行中。

現地で広葉樹を見れば「この木何の木？」、測量結果をまとめながら「除地って何？」、経営計画もハーベスタも需給票もリン化亜鉛粒剤も、1つ1つ教わりながら悪戦苦闘、日々とにかく勉強中です！

（戦力としてはとにかく軽快な会話で事務室の雰囲気づくりには人一倍役立っていると自負しています。）

最近では、組合が受託運営する木質ペレット工場の業務も少しずつお手伝いさせてもらっています。



【ソコとナタどちらが良いのか試行錯誤中】

## 胆振の魅力

程よく田舎。日常生活を送るのには何も支障が無く、周りの人も温かい。そして人（自分も含め）を墮落に誘う都会のネオンからそこそこ遠い。

子供の頃に遊び回った山や川が今も同じようになり、自分が楽しく過ごした経験と同じようなひとときを自分の子供達も過ごすことができます。

もちろん昔ほどラフなことは難しい社会にはなっていますが、まだ多少のことなら許容され、自分なりの暮らし・子育てができる余裕がある地域だと思います。

## 林業に興味を持っている方へメッセージ

屋外で思い切り体を動かす爽快感や開放感、思いがけない景色や色彩に触れて感性が刺激されるドキドキ感、そして期待を込めて未来に託す浪漫。

山の仕事は充実感一杯です。手応えのある人生を求める方、ここに答えがあるかもしれませんよ！